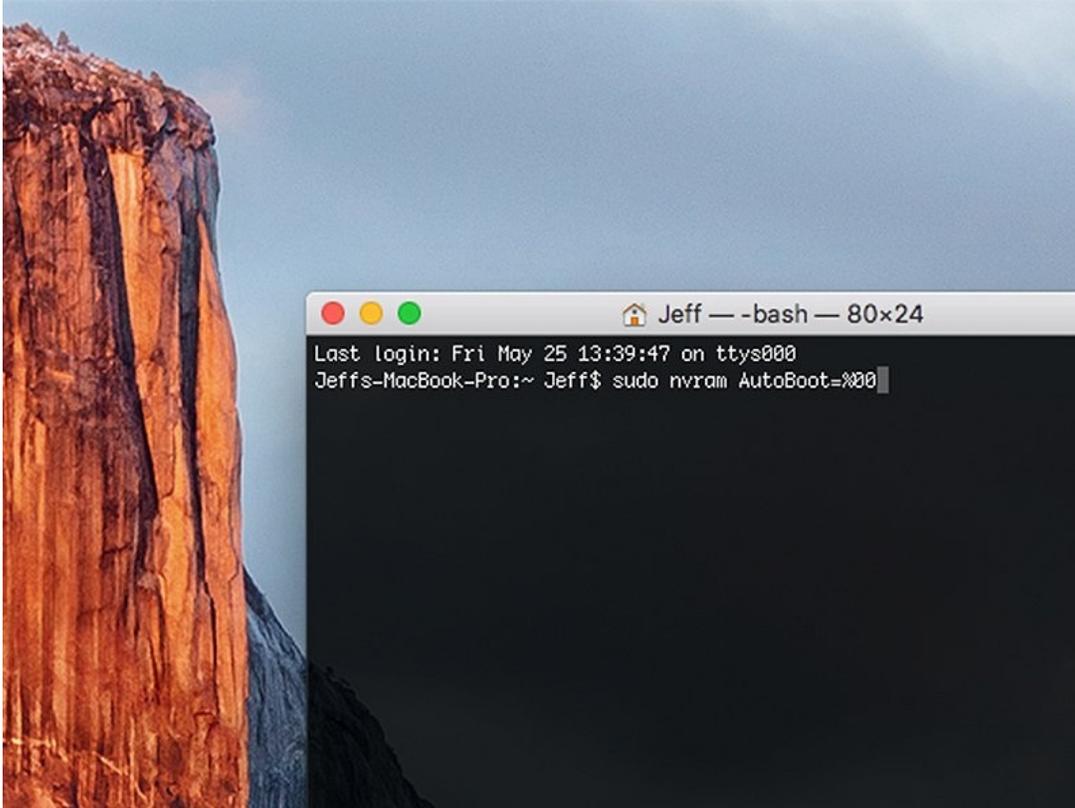




## 自動起動機能を無効にする方法

自動起動機能はデバイスの蓋を開くとすぐに、ラップトップの電源が入ります。そのため修理を行う前に...

作成者: Jeff Suovanen



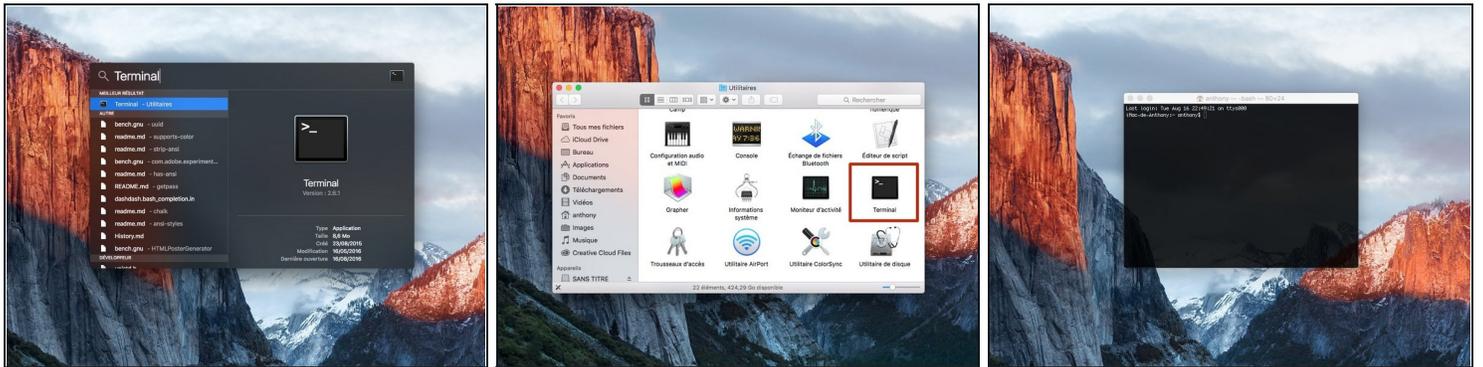
## はじめに

自動起動機能はデバイスの蓋を開くとすぐに、ラップトップの電源が入ります。そのため修理を行う前にこの機能を無効化しなければなりません。自動起動機能は2016年以降のMacBook Proと2017年以降の12インチRetina MacBookモデルに付いています。

このガイドは、自動起動機能を無効にするための手順ごとのガイドです。修理終了後、機能を有効に戻してください。

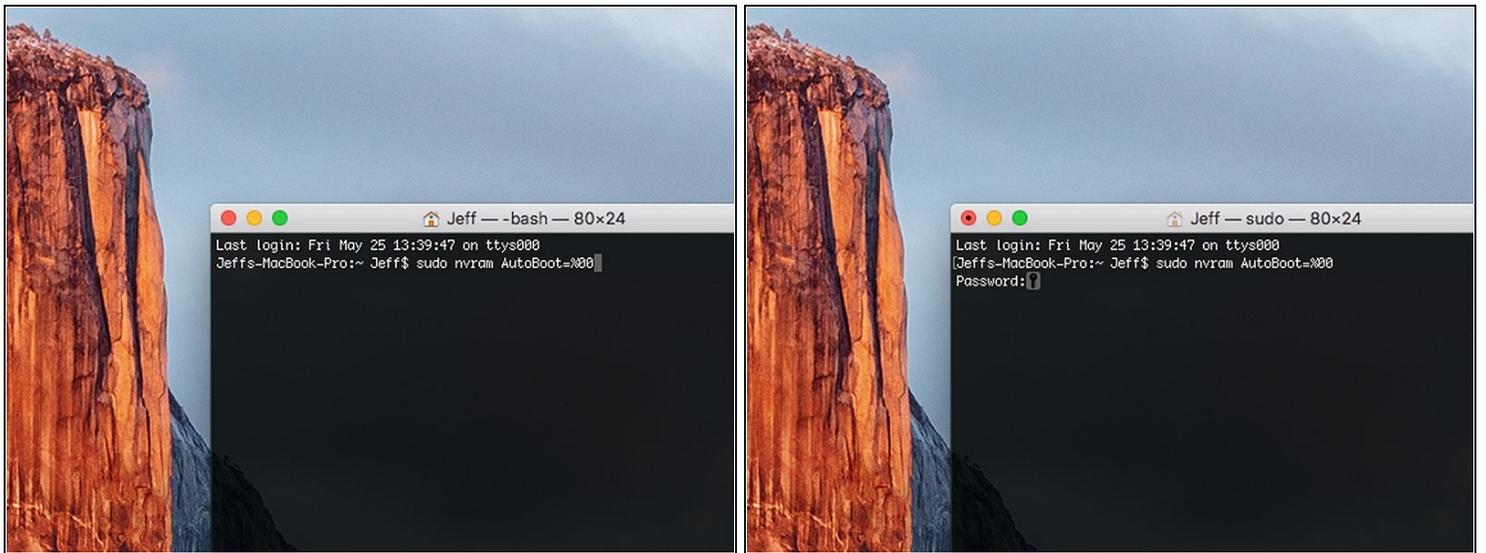
注意：Auto Bootの無効化は、2020年後半に発売されたARMベースのApple製Mシリーズプロセッサを採用したMacBook ProまたはMacBook Airでは機能しないことがあります。現時点では、Big Sur v11.1以降を搭載したデバイスでAuto Bootを無効にする手順はわかりません。

### 手順 1 — 自動起動機能を無効にする方法



- Macの電源を入れて、Terminalを起動します。
  - ① ターミナルを起動するには、**Spotlight Search**を使用するか、Finderの**Application / Utilities**から、ターミナルアイコンをダブルクリックします。

## 手順 2



- 次のコマンドをコピーしてターミナルに貼り付けます。(または正確に入力します)
  - **sudo nvram AutoBoot=%00**
- [return]をクリック。
  - ① [return]キーには↵または[enter]というラベルが付いている場合もあります。
- 管理者パスワードの入力が必要な場合、パスワードを入力して[return]キーを押します。
  - ① パスワードはターミナル上に表示されません。

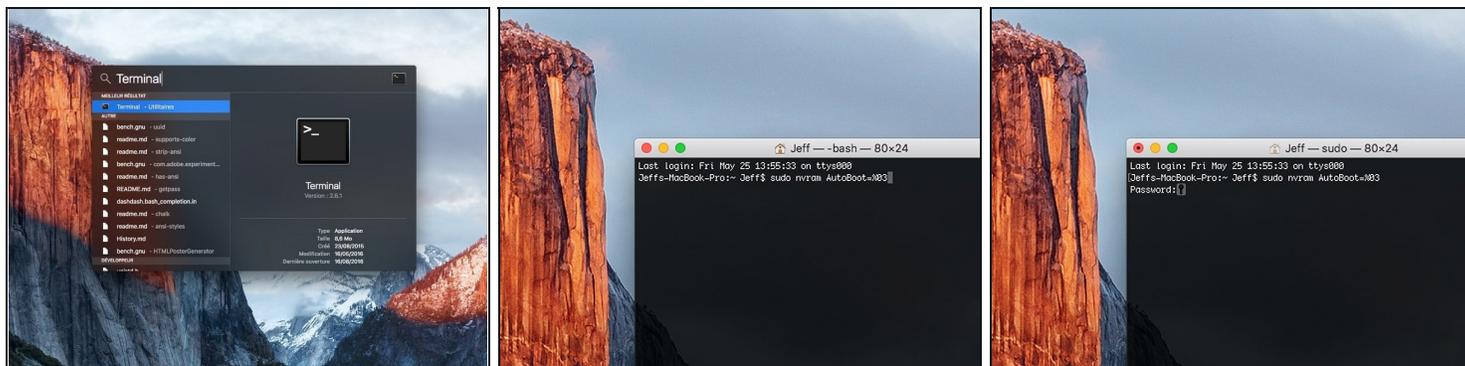
### 手順 3



① これで、アクシデントで電源が入ることなく、Macの電源を安全に切り、ボトムケースを取り外せます。

⚠ 内部コンポーネントにアクセスする前に、バッテリーを取り出さなければなりません。

### 手順 4



① 修理が完了して、Mac本体の再組み立てが完了したら、自動起動機能を有効にできます。

- Macの電源を入れて、ターミナルを立ち上げます。
- 次のコマンドをターミナルにコピーします。
  - **sudo nvram AutoBoot=%03**
- **[return]**をクリックします。
- 管理者パスワードの入力が必要な場合、パスワードを入力して**[return]**キーを押します。

① パスワードはターミナルに表示されません。

☑ もしくは、[MacのNVRAMをリセットして](#)自動起動機能を有効にしてください。

---

お疲れ様でした。これで作業は完了です！